



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月8日

上場会社名 オールエル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7670 URL <http://www.owell.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飛戸 克治
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 (氏名) 川戸 康晴 (TEL) 06-6473-0138
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	15,443	—	110	—	158	—	106	—
2019年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 $\Delta 78$ 百万円(—%) 2019年3月期第1四半期 $-$ 百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	10.29	—
2019年3月期第1四半期	—	—

(注) 2019年3月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年3月期第1四半期の数値及び2020年3月期第1四半期の対前年四半期増減率を記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	43,333	17,199	39.4
2019年3月期	44,621	17,484	39.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 17,092百万円 2019年3月期 17,380百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	10.00	—	17.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,000	$\Delta 1.4$	450	$\Delta 28.5$	580	$\Delta 20.2$	360	$\Delta 28.2$	34.81
通期	65,500	1.3	1,150	$\Delta 8.3$	1,360	$\Delta 4.2$	900	$\Delta 6.0$	87.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	10,500,000株	2019年3月期	10,500,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	156,942株	2019年3月期	156,942株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	10,343,058株	2019年3月期1Q	一株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、改元による特需や一部で消費税率引き上げを見据えた駆け込み需要がみられたものの、米中貿易摩擦を背景とした中国景気の減速による輸出の停滞や、人件費や原材料費、輸送費の負担が高水準で推移したことから製造業が悪化するなど、弱含み傾向が続きました。海外経済は、通商問題の動向及び影響、中国を始めアジア新興国等の経済の先行き、政策に関する不確実性による影響、金融資本市場の変動の影響等について留意する必要があるものの、緩やかな回復基調が継続されました。

このような経営環境の下で、当社グループは、取引先の課題を明らかにし、その課題を解決するために考動するべく、塗膜品質向上のための塗膜形成に関する課題解決力の向上、新商品開発及び品質保証力の強化、グローバル化への対応を継続しながら、事業基盤の強化、拡大に努めてまいりました。

その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は15,443百万円、営業利益は110百万円、経常利益は158百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は106百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①塗料関連事業

塗料関連事業では、主たるお客様である自動車メーカーの生産減がありましたが、塗装設備・機器の受注や、その他主要顧客の売上増がありました。

その結果、塗料関連事業の売上高は11,799百万円、セグメント利益は463百万円となりました。

②電気・電子部品事業

電気・電子部品事業では、主要商品であるホールICについては、中国市場向けの需要減があり、また当社子会社であるユニ電子(株)において、車載モジュールを販売している得意先の主たるエンドユーザーである自動車メーカーの生産調整による出荷減がありましたが、カーナビゲーションソフトウェアの販売は好調に推移しました。

その結果、電気・電子部品事業の売上高は3,643百万円、セグメント利益は71百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末の30,975百万円に比べ1,105百万円(3.6%)減少し、29,869百万円となりました。その主な内訳は、電子記録債権が249百万円、たな卸資産が374百万円それぞれ増加し、現金及び預金が656百万円、受取手形及び売掛金が1,203百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末の13,646百万円に比べ182百万円(1.3%)減少し、13,463百万円となりました。その主な内訳は、リース資産が48百万円、退職給付に係る資産が24百万円それぞれ増加し、投資有価証券が265百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末の22,187百万円に比べ981百万円(4.4%)減少し、21,205百万円となりました。その主な内訳は、支払手形及び買掛金が1,060百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末の4,949百万円に比べ21百万円(0.4%)減少し、4,928百万円となりました。その主な内訳は、繰延税金負債が53百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末の17,484百万円に比べ285百万円(1.6%)減少し、17,199百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月14日に開示いたしました「2019年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載した連結業績予想数値から、変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,964	6,307
受取手形及び売掛金	15,006	13,803
電子記録債権	3,555	3,804
たな卸資産	4,773	5,147
その他	688	820
貸倒引当金	△12	△14
流動資産合計	30,975	29,869
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,190	1,197
機械装置及び運搬具（純額）	87	88
工具、器具及び備品（純額）	89	87
土地	1,968	1,968
リース資産（純額）	18	67
建設仮勘定	7	5
有形固定資産合計	3,362	3,414
無形固定資産		
ソフトウェア	68	61
のれん	35	32
その他	38	39
無形固定資産合計	141	133
投資その他の資産		
投資有価証券	9,560	9,295
長期貸付金	81	77
退職給付に係る資産	93	117
繰延税金資産	92	105
その他	383	389
貸倒引当金	△69	△68
投資その他の資産合計	10,141	9,915
固定資産合計	13,646	13,463
資産合計	44,621	43,333

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,256	17,195
短期借入金	2,130	2,153
1年内返済予定の長期借入金	50	50
未払法人税等	205	53
賞与引当金	438	288
品質保証引当金	21	35
その他	1,084	1,428
流動負債合計	22,187	21,205
固定負債		
長期借入金	2,300	2,300
退職給付に係る負債	148	153
役員退職慰労引当金	78	79
繰延税金負債	2,129	2,076
資産除去債務	45	45
その他	248	274
固定負債合計	4,949	4,928
負債合計	27,136	26,134
純資産の部		
株主資本		
資本金	857	857
資本剰余金	760	760
利益剰余金	10,729	10,628
自己株式	△87	△87
株主資本合計	12,259	12,158
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,091	4,901
繰延ヘッジ損益	7	8
為替換算調整勘定	21	22
退職給付に係る調整累計額	0	0
その他の包括利益累計額合計	5,121	4,933
非支配株主持分	104	106
純資産合計	17,484	17,199
負債純資産合計	44,621	43,333

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間
(自 2019年4月1日
至 2019年6月30日)

売上高	15,443
売上原価	13,502
売上総利益	1,941
販売費及び一般管理費	1,831
営業利益	110
営業外収益	
受取利息	0
受取配当金	75
その他	8
営業外収益合計	85
営業外費用	
支払利息	9
持分法による投資損失	2
為替差損	17
その他	6
営業外費用合計	36
経常利益	158
税金等調整前四半期純利益	158
法人税、住民税及び事業税	34
法人税等調整額	17
法人税等合計	51
四半期純利益	107
非支配株主に帰属する四半期純利益	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	106

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	107
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△189
繰延ヘッジ損益	0
為替換算調整勘定	2
退職給付に係る調整額	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	△0
その他の包括利益合計	△186
四半期包括利益	△78
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△80
非支配株主に係る四半期包括利益	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当第1四半期連結会計期間より海外子会社においてIFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。当該会計基準の適用にあたり、当社グループは経過措置として認められている累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第1四半期連結貸借対照表において有形固定資産の「リース資産(純額)」が51百万円、流動負債の「その他」が22百万円、固定負債の「その他」が28百万円それぞれ増加しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	塗料関連事業	電気・電子部品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,799	3,643	15,443	—	15,443
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13	119	132	△132	—
計	11,813	3,763	15,576	△132	15,443
セグメント利益	463	71	534	△424	110

(注) 1. セグメント利益の調整額△424百万円は、主に各報告セグメントに配分していない会社の本社部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。